

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	保健Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	保健Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	2	60
使用教材	保健Ⅱ		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的ならびに生理学的に理解し、「美容実習」および「美容の物理化学」と関連させながら知識の習得をする。				
到達目標	人体の基礎知識の習得を図ることによって安全で衛生的な美容の施術を実践できる能力を育て、施術依頼者からの質問にも十分に説明できる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	-				
備考	原則、この授業は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	大田 将以	実務経験		○	
実務内容	薬の研究開発や薬剤師の経験に基づき、美容師業務に必要な医学・衛生の知識を身につける授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	人体の構造および機能の復習 (第1章～2章)	美容師免許を取得する必要性 頭部・顔部・頸部の体表解剖学、骨格系の演習(国家試験過去問題)と解説
2	人体の構造および機能の復習 (第3章～5章)	筋系、神経系、感覚器系の演習(国家試験過去問題)と解説
3	人体の構造および機能の復習 (第6章～8章)	血液・循環器系、呼吸器系・消化器系の演習(国家試験過去問題)と解説
4	皮膚科学(第1章)	皮膚の構造
5	皮膚科学(第2章)	皮膚付属機関の構造(毛)
6	皮膚科学(第2章～3章)	皮膚付属器官の構造(脂腺、汗腺、爪) および皮膚の循環器系と神経系
7	皮膚科学(第4章)	皮膚と付属器官の生理機能

8	総まとめ	テストを実施する
9	皮膚科学（第5章）	皮膚と皮膚付属器官の保健
10	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患 （皮膚の異常とその種類～皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹）
11	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患（日光皮膚炎～分泌異常による疾患）
12	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患（化膿菌・ウイルス・真菌による皮膚疾患）
13	まとめ	まとめを実施する
14	解説 皮膚科学（第6章）	振り返り・解説 衛生害虫による皮膚疾患～皮膚の腫瘍
15	総まとめ	総まとめを行う
16	皮膚科学の復習 （第1章～2章）	皮膚の構造と皮膚付属器官の構造の演習と解説
17	皮膚科学の復習 （第3章～4章）	皮膚の循環器系と神経系および皮膚と付属器官の生理機能の演習と解説
18	皮膚科学の復習（第5章）	皮膚と付属器官の保健の演習と解説
19	皮膚科学の復習（第6章）	皮膚と付属器官の疾患の演習と解説
20	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
21	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
22	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
23	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
24	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
25	まとめ	まとめを実施する
26	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
27	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
28	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
29	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	文化論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	文化論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科／ヘアメイク科	1	30
使用教材	文化論	出版社	社) 日本理容美容教育センター		

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界人として必要な理容業・美容業の歴史を学び、創造を広げるエッセンスとなる礼装の種類の流れを習得する。				
到達目標	美容師国家試験（筆記）に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	西澤 務	実務経験	○		
実務内容	美容師として37年の経験があり、その実務経験に基づいて国家資格合格へ向けて日本、西洋のファッション文化史の流れを教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代（明治・大正・昭和20年まで）	明治・大正・昭和の髪型・服装について
2	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代（明治・大正・昭和20年まで）	明治・大正・昭和の髪型・服装について
3	第3章ファッション文化史日本編 第7節 現代Ⅰ（1945～1950年代）	明治・大正・昭和の髪型・服装について
4	第3章ファッション文化史日本編 第7節 現代Ⅰ（1945～1950年代）	明治・大正・昭和の髪型・服装について
5	第3章ファッション文化史日本編 第7節 現代Ⅰ（1945～1950年代）	現代Ⅰ（1945～1950年代）の髪型・服装・化粧について
6	第3章ファッション文化史日本編 第8節 現代Ⅱ（1960～1970年代）	現代Ⅱ（1960～1970年代）の髪型・化粧・服装について
7	第3章ファッション文化史日本編 第8節 現代Ⅱ（1960～1970年代）	現代Ⅲ（1980～1990年代）の髪型・化粧・服装について
8	第3章ファッション文化史日本編 第8節 現代Ⅱ（1960～1970年代）	現代Ⅳ（2000年代以降）

9	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装の礼装について
10	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装の礼装について
11	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	洋装の礼装について
12	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	洋装の礼装について
13	まとめ	まとめを実施する
14	テスト解説 第3章 ファッション文化史日本編 第9節 第10節	テストの振り返り・解説 1980～2000年代の髪型・化粧・服装について
15	総まとめ	総まとめを行う
16	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
17	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
18	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
19	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
20	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
21	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
22	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
23	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	運営管理		
必修選択	必修	(学則表記)	運営管理		
開講					
年次	2年	学科	美容科/ヘアメイク科	単位数	1
使用教材	運営管理		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容経営者として活躍する上で必要とする知識の基礎を理解する。				
到達目標	自身で生活の中から知識や理論を深めることができる。働く者の立場と、経営者の立場のを理解し、キャリアプランに組み込んでいくことができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	-				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	水下 翔太	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション	講師自己紹介/運営管理の授業の概要・価値/授業の受講ルールを理解する
2	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第1節 第2節	経営とは何か・継続企業の原則、経営の必要性を理解する
3	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第3節 第4節	経営資源と経営計画を理解する
4	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第5節 第6節	経営戦略とは何か/良い店の実現を理解する
5	第2章 理容業・美容業の経営について 第1節 第2節	業界の概要について/競争の変化を理解する
6	第2章 理容業・美容業の経営について 第3節 第4節	サービスについて/理容業・美容業の顧客についてを理解する
7	第1編 第3章 資金の管理 第1節 第2節	資金管理の重要性と資金の流れを把握/収支と損益を理解する
8	第1編 第3章 資金の管理 第3節 第4節	収支と損益、会計の意味や考え方 コストを管理することを理解する

9	第1編 第3章 資金の管理 第5節	税金①税金の種類と支払うタイミングを理解する
10	第1編 第3章 資金の管理 第5節	税金②税金の申告 青色申告と白色申告を理解する
11	第2編 人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源	人という資源・労働者の権利 やる気とは何か、給与の役割、福利厚生を理解する P 5 0～P 6 1
12	第2編 人という資源 従業員としての視点 第2章 健康・安全な職場環境の実現	健康・安全な職場環境の実現①健康診断
13	第2編 人という資源 従業員としての視点 第2章 健康・安全な職場環境の実現	健康・安全な職場環境の実現②理美容業の健康問題
14	まとめ	前期授業習得度の確認・前期定期試験
15	振り返り	回答&解説
16	第2編 人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から 第1節 第2節	社会保険①国民年金を学ぶ
17	第2編 人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から 第2節	社会保険①厚生年金を学ぶ
18	第2編 人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から 第3節	社会保険②健康保険を学ぶ P 8 0～P 8 3
19	第2編 人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から 第3節	社会保険②国民健康保険・介護保険を学ぶ P 8 3～P 8 5
20	第2編 人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から 第4節	社会保険③雇用保険を学ぶ
21	第2編 人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から 第4節	社会保険③労働者災害補償保険・マイナンバー制度を学ぶ
22	第2編 人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から	後期授業習得度の確認
23	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン	価値の実態 1～3 価値の構造を理解し、システムを学ぶ
24	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン	価値の実態 4～6 価値の役割を理解し、人の役割を学ぶ
25	第3編 顧客のために 第2章 マーケティング	マーケティング① マーケティングミックス（短期的要因）を学ぶ
26	第3編 顧客のために 第2章 マーケティング	マーケティング② マーケティングミックス（長期的要因）を学ぶ
27	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割	接客の実践①～④ P 1 2 4～P 1 3 5
28	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割	接客の実践⑤接客におけるトラブル対応
29	総まとめ	後期授業内容の習得度の確認
30	解説総まとめ	後期筆記内容の解説 運営管理授業全般の総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容技術理論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	美容技術理論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	3	90
使用教材	美容技術理論Ⅱ		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得をする。				
到達目標	美容師国家試験(筆記)に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト: 50% 小テスト: 30% 授業態度: 20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	-				
備考	原則、この授業は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	西澤 務	実務経験	○		
実務内容	美容師として37年の経験があり、その実務経験に基づいて国家資格合格へ向けて美容技術理論の流れを教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	<< 8章 エステティック >> 1. エステティック概論 2. 皮膚の生理と構造 3. カウンセリング 4. 美容におけるマツサージ理論	・エステティックの歴史、範囲、心得、注意点・皮膚の構造・カウンセリングの目的・実際、エステティックにおけるカウンセリング・基本手技
2	5. フェイシャルケア技術 6. フェイシャル及びデコルテマツサージ 7. フェイシャルバック 8. ボディケア技術 9. ボディマツサージ	・フェイシャルの効果、方法・デコルテ、フェイシャルの手順 ・マツサージにおける手の動かし方と操作ポイント
3	<< 9章 ネイル技術 >> 1. ネイル技術概論 2. ネイル技術の種類 3. 爪の構造と機能 4. 爪のカット形状 5. ネイル技術と公衆衛生 6. カウンセリング	・ネイルケア、アーティフィシヤルネイル、ネイルアート・爪の構造と機能・爪のカット形状・消毒方法の種類、器具の消毒手順、テーブルセッティングの一例・カウンセリング

4	7. ネイルケア8. アーティフィシャルネイル 9. 手と足のマツサージ	・ネイルケアの道具、マニキュア・ペディキュア技術の手順ジェル技術の手順、シルクラップ技術の手順・グルー&ファイラー技術の手順、アーティフィシャルネイルの追加とオフ・ハンドマッサージのポイント
5	≪ 10章 メイクアップ ≫ 1. メイクアップ概論2. 顔の形態学的な観察 3. メイクアップと色彩4. 皮膚の生理と構造 5. メイクアップの道具 6. スキンケア 7. ベースメイクアップ	・メイクアップ概論（サロンワーク・スタジオワーク）・メイクアップの道具 ・ベースメイクのアクセントカラー・パウダリング
6	8. アイメイクアップ 9. アイブロウメイクアップ 10. リップメイクアップ 11. ブラッシュアップ メイクアップ 12. まつ毛エクステンション	アイライン、アイシャドー、カラーアイシャドー、パウダーアイシャドー、アイラッシュカール、マスカラ つけまつ毛のテクニック・まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項、施術の一例
7	総まとめ	テストを実施する 8章～10章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
8	≪ 11章 日本髪 ≫ 1. 日本髪の由来 2. 日本髪の各部の名称 3. 日本髪の種類と特徴4. 日本髪と調和	・日本髪の由来・日本髪の各部の名称・日本髪の種類と特徴・日本髪と調和
9	5. 日本髪の装飾品 6. 日本髪の結髪道具 7. 日本髪の結髪技術 8. 日本髪の手入れ 9. かつら	・日本髪の装飾品・日本髪の結髪道具・日本髪の結髪技術 ・日本髪の手入れ・かつら（かぶせ方、飾り方、付け方、簪の位置、外し方、持ち方、しまい方、手入れ）
10	≪ 12章 着付けの理論と技術 ≫ 1. 着付けの目的 2. 礼装 3. 着物と季節 4. 着物のいろいろ 5. 帯 6. 小物 7. 着物各部の名称 8. 着物のたたみ方	・着付けの目的・女子礼装、男子礼装、礼装生地、準礼装、心得・着物と季節・着物のいろいろ ・帯・小物の種類・着物の各部の名称・着物のたたみ方
11	9. 着付けの一般的要領 10. 留袖着付け技術 11. 振袖着付け技術 12. 帯締め、帯揚げの結び方 13. 男子礼装羽織、袴着付け技術	・体型補正、長襦袢の着付け・着物の着付け、帯結び・帯締めの結び方の一例、 帯揚げの結び方の一例、男子礼装羽織、袴着付け技術
12	14. 羽織のひもの結び方 15. 女子袴着付け技術 16. 婚礼着付けの際の注意事項 17. 和装花嫁 18. 洋装花嫁(ウエディングドレスの知識)	・羽織のひもの結び方・女子袴着付け技術・美容師自身の身だしなみ、不測の事態に備える、 緊張をほぐすための細かい配慮、花嫁の動作に注意する、機敏な動作 和装花嫁・洋装花嫁
13	まとめ	まとめを実施する 11章～12章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
14	解説	テストの振り返り・解説

15	美容技術理論Ⅱ 総まとめ	美容技術理論Ⅱ 総まとめを行う
16	美容技術理論Ⅰ 序章・1章	美容技術理論を学ぶにあたって・美容道具 重点項目振り返り
17	美容技術理論Ⅰ 2章・3章	シャンプーイング・ヘアデザイン 重点項目振り返り
18	美容技術理論Ⅰ 4章・5章	ヘアカッティング・パーマネントウエーピング 重点項目振り返り
19	美容技術理論Ⅰ 6章・7章	ヘアセッティング・ヘアカラーリング 重点項目振り返り
20	美容技術理論Ⅰ 総まとめ	美容技術理論Ⅰ 総まとめを行う
21	対策	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
22	まとめ	まとめを実施する 美容技術理論Ⅰ・Ⅱ の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
23	国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説

26	まとめ	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
27	国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	関係法規・制度		
必修選択	必修	(学則表記)	関係法規・制度		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	ヘアメイク科		30
使用教材	関係法規・制度		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師法による規制と、行政による指導監督制度、およびその他の美容の業の関連法規に関する知識の習得を図る。				
到達目標	関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を獲得し、国家試験に対応できる学力の習得をする。				
評価基準	テストおよび小テスト：80% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	-				
備考	原則、この授業は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	水下 翔太	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション 第1章 法制度の概要 第1節 第2節	美容師免許取得までの流れ、国家試験における関係法規の出題数や傾向の説明 社会における法の役割・日本の法令体系
2	第1章 法制度の概要 第3節 第4節	衛生法規の仕組み 美容師法と附属法令
3	第2章 衛生行政の概要 第1節 ~ 第3節	衛生行政を担う行政機関・保健所の役割
4	第3章 理容師法・美容師法 第1節	「美容師法」の目的
5	第3章 理容師法・美容師法 第2節	「美容師法」で用いられる用語の定義
6	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師免許取得までの過程
7	まとめ	まとめを実施する
8	解説	振り返り・解説

9	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師に求められる義務
10	第3章 理容師法・美容師法 第3節	免許の変更等があったときの手続き
11	第3章 理容師法・美容師法 第3節	管理美容師
12	第3章 理容師法・美容師法 第4節	美容所の開設に必要な届出・検査
13	第3章 理容師法・美容師法 第4節	開設者が求められる義務および美容所以外での業務
14	まとめ	まとめを実施する
15	解説・総まとめ	振り返り・解説
16	第3章 理容師法・美容師法 第5節	立入検査と環境衛生監視員
17	第3章 理容師法・美容師法 第6節	違反者に対する行政処分
18	第3章 理容師法・美容師法 第7節	違反者に対する罰則
19	第4章 関連法規	美容業の運営に関する関連法規
20	第4章 関連法規	美容業の衛生・顧客に関する関連法規
21	まとめ	まとめを実施する
22	解説	振り返り・解説
23	第1章 第2章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
24	第3章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
25	第4章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
26	まとめ	まとめを実施する
27	解説	振り返り・解説
28	総復習（1）	国家試験過去問演習等
29	総復習（2）	国家試験過去問演習等
30	総まとめ	総まとめを実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	衛生管理Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	衛生管理Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	2	60
使用教材	衛生管理	出版社	社) 日本理容美容教育センター		

科目の基礎情報②

授業のねらい	公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で、衛生面についての理解する。				
到達目標	不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務をするため、個人としてだけでなく、授業を通して公衆衛生・環境衛生を業務に関連付けて説明することができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	—				
備考	原則、この授業は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	西澤 務	実務経験	○		
実務内容	美容師として37年の経験があり、その実務経験に基づいて衛生面について理解を深め、公衆衛生・環境衛生を業務に関連付けて説明するスキルを身につける授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1編 公衆衛生 1章 公衆衛生の概要	先輩や講師自身の話をする美容師免許を所得する上での必要性取得までの流れを説明 この教科で一番興味を持ちそうな話をする(身近な病気や生活習慣病など普段の生活に近い話) 健康の定義、公衆衛生の歴史、保健所の役割
2	第1編 公衆衛生 2章 保健	「母子保健」・「成人・高齢者保健」・「精神保健」
3	第2編 環境衛生 1章 環境衛生の概要・空気環境	環境衛生の内容・目的・意義・活動 空気の成分と有毒ガス 温度・湿度・風と健康
4	第2編 環境衛生 1章 衣服住居の衛生・上下水道と廃棄物	衣服住居の衛生・上下水道と廃棄物
5	第2編 環境衛生 1章 衛生害虫とネズミ・環境保全	衛生害虫とネズミ・環境保全
6	まとめ	まとめを実施する。振り返り・解説
7	第3編 感染症 1章 感染症の総論①	人と感染症・感染症の歴史、法律・感染症の分類

8	第3編 感染症 1章 感染症の総論②	病原微生物の種類と構造・環境の影響
9	第3編 感染症 1章 感染症の総論③	感染症の予防免疫と予防接種・予防のための3原則
10	第3編 感染症 2章 感染症の各論①	空気・飛沫、飲食物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策
11	第3編 感染症 2章 感染症の各論②	血液等、動物・節足動物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策
12	第3編 感染症 2章 感染症の各論③	具体的な対策の例
13	まとめ	まとめを実施する
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	第4編 衛生管理技術 1章 消毒法総論	消毒法とは・消毒の意義 理美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意
17	第4編 衛生管理技術 2章 消毒法各論	理学的消毒法・化学的消毒法の消毒方法 消毒条件・特徴、すぐれた消毒法と実施上の注意
18	第4編 衛生管理技術 3章 消毒法実習(1)	消毒液の濃度、希釈の方法、器具の使い方 各種消毒液の調整法と計算の仕方
19	第4編 衛生管理技術 3章 消毒法実習(2)	消毒の原則、器具や布片の消毒と注意点 理美容所の清潔法の実際
20	第5編 衛生管理の実践例 1章 衛生管理要領①	第1～第4 衛生的取り扱い等
21	第5編 衛生管理の実践例 1章 衛生管理要領②	第1～第4 衛生的取り扱い等
22	第5編 衛生管理の実践例 1章 衛生管理要領③	第5～第6 自主的管理体制
23	第5編 衛生管理の実践例 1章 衛生管理要領④	第5～第6 自主的管理体制
24	まとめ	まとめを実施する。振り返り・解説
25	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	化粧品化学		
必修選択	必修	(学則表記)	化粧品化学		
開講					
年次	2年	学科	ヘアメイク科	単位数	2
時間数					60
使用教材	化粧品化学	出版社	社) 日本理容美容教育センター		

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容器具や化粧品等に関する科学的知識を通し、美容を適切に行う能力と態度を育てる。「美容保健」、及び「美容実習」と関連させながら、実的な知識の習得をする。				
到達目標	美容の化粧品化学・美容機器・化粧品の適正な取扱い学び、化学の基本原理に関連付けて説明することができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	-				
備考	原則、この授業は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	鶴嶋 信一郎	実務経験	○		
実務内容	美容室勤務14年の実務経験と、メーカー講師として18年の経験を基に、化粧品科学や美容機器等の適切な取り扱いができるよう教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション 1章 化粧品概論	先輩や講師自身の話をする 美容師免許を所得する上での必要性 取得までの流れを説明する 教科で一番興味を持ちそうな話をする(身近な薬剤の話など)
2	2章 化粧品原料	「化粧品の対象となる人体各部の性状」「水性原料」「油性原料」の解説と演習
3	2章 化粧品原料	「油性原料」「界面活性剤」「高分子化合物」の解説と演習
4	2章 化粧品原料	「色材」「香料」「その他配合成分」「ネイル、まつ毛エクステンション用材料」の解説と演習
5	3章 基礎化粧品	「皮膚洗浄用化粧品」「化粧水」「クリーム・乳液」「その他の基礎化粧品」「メイクアップ用化粧品」の解説と演習
6	4章 メイクアップ用化粧品 5章 頭皮・毛髪用化粧品	「メイクアップ用化粧品の種類と剤形」「ベースメイクアップ化粧品」 「ポイントメイクアップ化粧品」の解説と演習 「シャンプー剤」「スタイリング剤」の解説と演習
7	まとめ	まとめを行う

8	5章 頭皮・毛髪用化粧品	「スタイリング剤」の解説と演習
9	5章 頭皮・毛髪用化粧品	「パーマ剤」の解説と演習
10	5章 頭皮・毛髪用化粧品	「ヘアカラー」の解説と演習
11	6章 芳香製品と特殊化粧品	「芳香・特殊化粧品」「特殊化粧品」の解説と演習
12	6章 芳香製品と特殊化粧品	「芳香・特殊化粧品」「特殊化粧品」の解説と演習
13	まとめ	まとめを行う
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	化粧品化学を理解するための基礎化学（付録1～付録2）	「物質の構成」「物質（水）の構成」の解説と演習
17	化粧品化学を理解するための基礎化学（付録3～付録5）	「溶液とコロイド」「イオンと水素イオン指数」「物質の変化と化学反応」の解説と演習
18	化粧品化学を理解するための基礎化学（付録6～付録7）	「酸化・還元反応」「タンパク質」の解説と演習 化学範囲の復習
19	化粧品化学	「化粧品分野」重点項目の復習と確認
20	化粧品化学	「化粧品分野」重点項目の復習と確認
21	化粧品化学	「化粧品分野」重点項目の復習と確認
22	化粧品化学	「化学分野」重点項目の復習と確認
23	化粧品化学	「化学分野」重点項目の復習と確認
24	まとめ	まとめを行う
25	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
26	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
27	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
28	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
29	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
30	国家試験対策	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - A		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	2	60
使用教材	オールウェーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する。				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する。				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 提出物20% 授業態度10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-C・美容実習Ⅱ-E				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	荒井 悦子	実務経験	○		
実務内容	美容室勤務 13年の実務経験を活かし、国家試験資格合格に向けて合格基準を満たす授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション オールウェーブセッティング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明、美容師国家試験衛生(技術における衛生上の取り扱い) 1年次おさらい 1段目～3段目、くりぬき(ウェーブ・リッジ)、計測27分
2	オールウェーブセッティング	1年次おさらい 1段目～3段目、くりぬき(ウェーブ・リッジ)復習、計測27分～25分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール導入(手順、スライス、ピニング)、美容師国家試験衛生
3	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測25分～20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生
4	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボール導入
5	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボール導入
6	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分～17分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボール復習、強化、7段目クロッキノールカール導入

7	オールウエーブセッティング	1 段目～3 段目、くり抜き復習、計測 2 0 分～1 7 分 4 段目 右リフトカール、5 段目左リフトカール復習、強化、計測各カール 3 分、美容師国家試験衛生 6 段目メイボール、7 段目クロッキノールカール復習、強化、7 段構成全体のバランス
8	オールウエーブセッティング まとめ	オールウエーブセッティングまとめを実施する 1 段目～3 段目、くり抜き、4 段目右リフトカール、5 段目左リフトカール計測 2 6 分 6 段目メイボール、7 段目クロッキノールカール復習、強化、計測、7 段構成全体のバランス、美容師国家試験衛生
9	オールウエーブセッティング	7 段構成全体のバランス、各段、各カール再復習、計測 4 段目～7 段目カール 1 2 分 7 段構成 計測 3 5～3 0 分、美容師国家試験衛生
10	オールウエーブセッティング	7 段構成 計測 3 5～3 0 分 美容師国家試験衛生
11	オールウエーブセッティング	7 段構成 3 0～2 5 分 美容師国家試験衛生
12	オールウエーブセッティング	7 段構成 3 0～2 5 分 美容師国家試験衛生
13	オールウエーブセッティング	7 段構成 2 5 分 美容師国家試験衛生
14	オールウエーブセッティング 総まとめ	7 段構成 2 5 分 総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-B		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-B		
開講					
年次	2年	学科	ヘアメイク科	単位数	2
時間数					60
使用教材	ワインディング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する。				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する。				
評価基準	ワインディング：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% 国家試験カット：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-C・美容実習Ⅱ-E				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、この科目は対面授業形式で実施する。 ・この科目は「ワインディング」「国家試験カット」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。 				
担当教員	勇 果子	実務経験		○	
実務内容	美容室勤務15年の実務経験を活かし、国家試験資格合格に向けて合格基準を満たす授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション ワインディング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらい
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き22分～20分
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き22分～20分
4	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き20分
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き20分
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き20分
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き20分

8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き 20分
9	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験衛生 全島計測 20分でまとめを実施する
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
12	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
13	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
14	ワインディング 総まとめを実施する	ワインディング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り
各回の展開【国家試験カット】		
回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション 国家試験カット	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらい カット手順再確認
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）18分～16分（チェックカット込み）22分～20分
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）18分～16分（チェックカット込み）22分～20分
4	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）18分～16分（チェックカット込み）22分～20分
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
9	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
11	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
12	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
13	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
14	国家試験カット 総まとめを実施する	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り 課題到達目標の確認

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-C		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-C		
開講					
年次	2年	学科	ヘアメイク科	単位数	3
時間数					90
使用教材	ワインディング教材一式 オールウェーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 時間内に合格基準を満たす技術を習得する。				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する。				
評価基準	ワインディング：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% オールウェーブ：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-A・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-E				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、この科目は対面授業形式で実施する。 ・この科目は「ワインディング」「オールウェーブセッティング」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。 				
担当教員	勇 果子	実務経験		○	
実務内容	美容室勤務15年の実務経験を活かし、国家試験資格合格に向けて合格基準を満たす授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】

回数	単元	内容
1	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
4	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生

7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
9	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング 総まとめ	ワインディング・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する
各回の展開【オールウェーブセッティング】		
回数	単元	内容
1	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
2	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
3	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
4	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
5	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
6	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
7	オールウェーブセッティング まとめ	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
8	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
9	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
10	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
11	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
12	オールウェーブセッティング 総まとめ	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-D		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-D		
開講					
年次	2年	学科	ヘアメイク科	単位数	3
時間数					90
使用教材	カッティング教材一式 シャンプー教材一式 衛生教材一式 改正美容師技術試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナルマニュアル 美容実習ノート	出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター		

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第1課題カッティングの構成を理解し、国家試験規定時間内での合格基準の技術を習得する。 美容師国家試験第2課題技術について基礎を理解し習得する。				
到達目標	国家試験第1課題レイヤーカット技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す。				
評価基準	国家試験カット：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% 国家試験第2課題：総まとめ30% まとめ15% 授業態度5%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-E				
備考	・原則、この科目は対面授業形式で実施する。 ・この科目は「国家試験カット」「シャンプーイング/国家試験第2課題」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	小澤 樹里	実務経験	○		
実務内容	美容室勤務15年の実務経験を活かし、国家試験資格合格に向けて合格基準に満たす授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【国家試験カット】

回数	単元	内容
1	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
4	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生

7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
9	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
11	国家試験カット 総まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する
各回の展開【シャンプーイング／国家試験第2課題】		
回数	単元	内容
1	シャンプーイング	シャンプー台の利用の仕方、シャンプー知識、ブラッシング、シャワーヘッドの使用 シャンプーのプロセスの理解
2	シャンプーイング	プレシャンプー シャンプー手順 1シャンプー
3	シャンプーイング	シャンプー手順 1シャンプー
4	シャンプーイング	シャンプー手順 1シャンプー トリートメント
5	シャンプーイング	シャンプー手順 2シャンプー トリートメント
6	国家試験第2課題	国家試験第2課題・美容師国家試験衛生
7	国家試験第2課題	国家試験第2課題・美容師国家試験衛生
8	国家試験第2課題	国家試験第2課題・美容師国家試験衛生
9	国家試験第2課題	国家試験第2課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験第2課題	国家試験第2課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第2課題	国家試験第2課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第2課題	国家試験第2課題・美容師国家試験衛生
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-E		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	3	90
使用教材	ワインディングまたはオールウェーブ教材一式 カッティング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験 実技試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する。				
到達目標	美容師国家試験 第1課題・第2課題・国家試験衛生合格レベルを習得する。				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 授業態度30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-A・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-C・美容実習Ⅱ-D				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	荒井 悦子	実務経験	○		
実務内容	美容室勤務13年の実務経験を活かし、国家試験資格合格に向けて合格基準を満たす授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
2	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
3	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
4	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
5	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
6	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生

7	国家試験第1課題・第2課題 まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 まとめを実施する
8	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
9	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
13	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
14	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
15	国家試験第1課題・第2課題 総まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	スチール撮影実習		
必修選択	選択	(学則表記)	スチール撮影実習		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	2	60
使用教材	カメラ機材 筆記用具	出版社	—		

科目の基礎情報②

授業のねらい	作りたいヘアメイクのデザインには、どのようなライトやバック紙を選択すれば良いかを知る。				
到達目標	バック紙等、背景の違いによるメイクアップ効果の違いを知る。 様々なシーンに合わせた背景を選べるようになる。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	—				
関連科目	美容実習 I-E				
備考	<ul style="list-style-type: none"> 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 野外での授業は天候により授業の展開が変わることがあります。 				
担当教員	杉山 智明、他1名	実務経験	○		
実務内容	CMや広告、ショー、ブライダルのヘアメイクや参列者へのヘアメイクの経験を活かし、基礎から応用の知識や技術を習得させる授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション バック紙の使い方と効果	オリエンテーション(後期の流れ・作品撮影・ヘアメイク連動について) 授業の目的目標、評価基準、授業ルール
2	白バック紙にて撮影①	白いバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
3	白バック紙にて撮影②	
4	白バック紙にて撮影③	
5	黒バック紙にて撮影①	黒いバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
6	黒バック紙にて撮影②	
7	黒バック紙にて撮影③	

8	野外のロケーションにて撮影①	野外のロケーションで、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
9	野外のロケーションにて撮影②	
10	カラーバック紙にて撮影①	カラーバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
11	カラーバック紙にて撮影②	
12	カラーバック紙にて撮影③	
13	作品制作①	テスト
14	作品制作②	自分でヘアメイクに合うライティングやバック紙を考え作品制作を行う
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	1	30
使用教材	就職ガイドブック		出版社	株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職するうえで必要な知識や心構えを身に付ける。 卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になっている。				
到達目標	就職希望サロンを明確にし、内定取得に向けての知識・心構えが身に付いている。				
評価基準	テスト：50% 提出物：30% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	—				
関連科目	ビジネスマナーⅠ・ビジネスマナーⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	篠崎 泰文	実務経験	○		
実務内容	美容室勤務9年の経験を基に美容業界についての情報や必要なマナー・就職するために必要な知識を伝える授業を行う。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職指導の目的 目標設定	・就職指導を行う目的を理解 ・就職決定までの目標設定
2	言葉遣い	・言葉遣い、敬語の使い方
3	自己分析	・自分が希望する就職先、職務内容について再確認する ・希望に向けての課題を理解する
4	自己PR	・自己PR内容の見直し、ブラッシュアップ
5	書類選考対策	・就職活動に必要な書類（履歴書やエントリーシート等）のパターンと対策
6	面接対策	・面接対策、オンライン形式・対面形式それぞれのポイント
7	ビジネスマナー	・ビジネスメール ・電話のマナー

8	一般常識	・一般常識対策
9	商品プレゼン	・商品紹介(プレゼン)のポイントを説明、理解する
10	商品プレゼン	・おすすめ商品をピックアップし、商品紹介(プレゼン)内容を考える
11	商品プレゼン	・商品紹介(プレゼン)
12	商品プレゼン	・商品紹介(プレゼン)
13	テスト	・前期末試験
14	SNSについて	・SNSのマナー ・有効的な使用方法
15	まとめ	・前期総まとめ
16	前期の振り返り	・前期の振り返り
17	働く意義	・何のために働くか ・働く上で大切なこと
18	人間力	・社会人として求められていること ・社会人と学生との違い
19	人間力	・愛される人材とは ・感謝の気持ち
20	自分の理想像	・自分の理想とする社会人像とは
21	目標設定	・2年生後期～5年後の目標設定
22	接客マナー	・社会人として備えるべきマナーについて
23	電話応対	・電話応対の方法
24	来客応対	・来客時の応対方法
25	一般常識	・就業するにあたって理解すべき言葉について(就業規則・社会人としての知識)
26	ケースワーク①	・事例を上げ、原因と対応について考える
27	ケースワーク②	・事例を上げ、原因と対応について考える
28	テスト	・後期末試験
29	後期まとめ	・後期のまとめ、振り返り
30	総まとめ	・2年間の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヘアメイク実践Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアメイク実践Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	5	150
使用教材	ヘアメイク道具（私物も使用可）、携帯電話		出版社	—	

科目の基礎情報②

授業のねらい	サロンスタイル、トレンドメイク、ビューティーメイク、モデル診断など美容師/ヘアメイクで生きるメイク技術を学ぶ。				
到達目標	テーマを分析しメイクができる対応力を身につける。モデルの似合わせ分析ができる。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	—				
関連科目	—				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	久保 妃那子	実務経験	○		
実務内容	ヘアメイクアーティストとして、CMや広告、ショーなどの現場でファッションヘアメイクを経験。この経験を基に、ヘアメイクの基礎から応用までを習得させる授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

回数	単元	内容
1	大人ビューティーメイク	大人向けのビューティーメイクを分析しメイクを行う
2	韓国メイク①	アイシャドウ、リップにポイントを置いた韓国コスメメイクを行う
3	韓国メイク②ビューティー系	韓国のビューティー系メイクを行う
4	韓国メイク③ガールクラッシュ系	韓国のガールクラッシュ系メイクを行う
5	サロンスタイル	サロンスタイルのヘアメイクを行う
6	タイメイク	タイメイクを行う

7	リバイバルメイク	過去に流行したメイクを現在にアレンジしてメイクを行う
8	【中間テスト】サロンスタイル	サロンスタイルのヘアメイクを行う
9	眉スタイリング&まつげパーマ	眉スタイリングの施術、まつげパーマの施術方法を聴講する
10	コスプレメイク	コスプレイヤーによるコスプレメイクの提示解説
11	プリキユアメイク	実写版プリキユアを想定したヘアメイクをおこなう
12	メンズメイク	メイク感を感じさせないメンズメイクからメイク感のあるメンズメイクなど、男性へのメイク方法を学ぶ
13	Styling Map診断	Styling Mapという似合わせ分析方法を学び診断を試みる
14	分析メイク	Styling Map診断をして似合わせメイクを行う
15	【期末テスト】分析メイク	Styling Map診断をして似合わせメイクを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヘアメイク実践Ⅱ（特殊メイク）		
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアメイク実践Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	3	90
使用教材	ヘアメイク道具（私物も使用可）、携帯電話		出版社	—	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ヘアメイクの現場で役立つ知識や技術を学ぶ。ヘアメイク案件を想定した考え方を学ぶ。コンテストやショーに使える特殊なメイク技法やデザイン理論を学ぶ。				
到達目標	特殊メイク（クリエイティブ/アート）を構築するためのデザイン理論や、イメージソースのを見つけ方を学ぶ。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	—				
関連科目	—				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	久保 妃那子	実務経験	○		
実務内容	ヘアメイクアーティストとして、CMや広告、ショーなどの現場でファッションヘアメイクを経験。この経験を基に、ヘアメイクの基礎から応用までを習得させる授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

回数	単元	内容
1	2024SPメイク	2024SPメイクを研究しメイクを行う
2	メイク分析	真似したいメイク画像を見て、どのような化粧品をどういれているかを分析しメイクを行う
3	色指定メイク	指定された色味を使ってメイクする。質感や濃淡などにこだわった表現方法でメイクを行う
4	着回しにあわせたヘアメイク	テーマを決めてそれに沿った服装、ヘアメイクで3コーデの着回しスタイルを撮影する
5	着回しにあわせたヘアメイク	テーマを決めてそれに沿った服装、ヘアメイクで3コーデの着回しスタイルを撮影する
6	年代別メイク①	昭和～平成～令和のトレンドメイクを学びメイクを行う

7	年代別メイク②	昭和～平成～令和のトレンドメイクを学びメイクを行う
8	【中間テスト】メイクtiktok	メイクのtiktokを作成する
9	外国人メイク	海外モデルや歌手を参考にした立体的な外国人メイクを行う
10	海外風メイク	渡辺直美やちゃんみなのような遊びのある濃いめの海外風メイクを行う
11	モードメイク	シュウウエムラのモードメイクを参考に、モードメイクを学び表現する
12	クリエイティブメイク①	クリエイティブメイクを行う際のポイントを学びメイクを行う
13	クリエイティブメイク②	クリエイティブメイクを行う際のポイントを学びメイクを行う
14	ステージメイク/PVメイク	ステージやPVなどで見られるアート性の高いメイクを行う
15	【期末テスト】メイクyoutube	メイクの動画を作成する